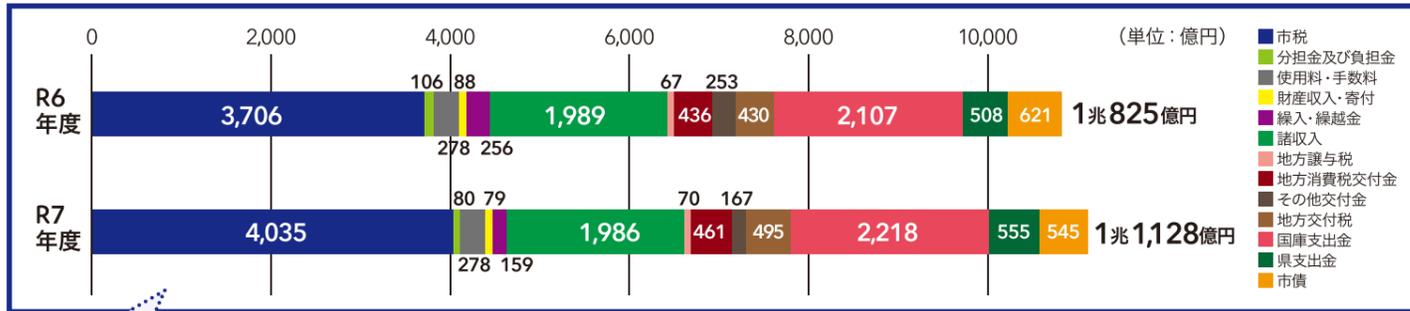


福岡市 令和7年度 一般会計予算の概要

こども育成費や教育費の増加、社会保障関係費の増大などにより、福岡市の令和7年度一般会計予算は、1兆1,128億円（前年度比+2.8%）となり、過去最大規模となりました。

歳入



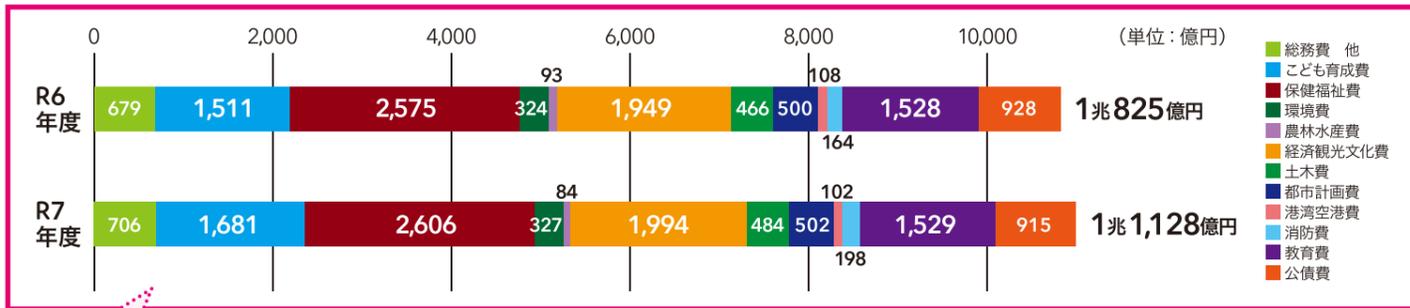
◆一般財源の確保について

市税収入は過去最高の4,035億円となり、固定資産税や都市計画税の増加、企業収益の改善による法人市民税の増加などが影響しています。特に、個人市民税は納税義務者数や給与収入の増加により1,498億円（前年度比+12.7%）と大きく増加しました。一方で、地方交付税は495億円（前年度比-3.9%）となり、市税収入の増加に伴い減少しています。また、臨時財政対策債の発行がゼロとなったこともあり、一般財源の総額は5,369億円（前年度比+242億円）となりました。

◆市債の発行と残高の推移

令和7年度の市債発行額は545億円で、前年度（令和6年度）と比べ55億円の減少となります。また、市民一人当たりの市債残高（臨時財政対策債を除く）は約88万円となり、平成16年度末と比べ97万円減少し、ピーク時の半分を下回る見込みです。

歳出



◆こども育成費、教育費ともに過去最大、社会保障関係費も増加

「こども育成費」は、児童手当の拡充（+70億円）、就学前児童の教育・保育給付費（+62億円）、障がい児施設給付費等（+14億円）などにより、前年度比170億円増の1,681億円と過去最大規模となりました。また、「教育費」は、教職員給与等の増（+58億円）、舞鶴小中学校の校舎増築（+13億円）などにより、1,529億円を計上。また、「保健福祉費」については、障がい福祉サービス関連の増（+63億円）、医療・介護関連の繰出金等の増（+16億円）などにより2,606億円となり、社会保障関係費も増加しています。

令和7年度 新規事業や拡充事業についてお知らせします

★新規事業 ●拡充事業

- ★学校給食の無償化（2学期より）
- ★学校体育館へエアコンを整備（R7 特別支援学校10校）
- ★学校施設活用型体験プログラムのモデル実施
- 1か月児・5歳児検診を開始
- ★中小企業等で働く従業員の奨学金返還を支援
- ★水泳授業の民間プール等活用を拡大（37校）
- ★帯状疱疹ワクチン接種助成を開始
- オーラルケア28（にいはち）プロジェクト
- 水素自動車（FCモビリティ）の導入を促進
- ★清掃工場等への日曜日のごみ持ち込みが可能に
- 新任民生委員へのフォロー体制の充実
- 福祉の総合相談窓口の全区設置
- ★地域の多文化共生を推進



- ★公共施設の緑化推進
- 地下鉄全駅（地上駅除く）への全館冷房導入
- 地下鉄の車両更新・増備、混雑緩和
- 生活交通支援
- 福岡アジア美術館の魅力向上を検討
- 海辺を活かした観光振興
- ★福岡城天守の調査
- ★次世代型太陽電池（ペロブスカイト太陽電池）の導入
- ★避難所の環境改善（トイレ・キッチン・バス）
- ★地域防災計画の全面的な見直し
- 公民館の業務効率化支援
- 地域産材の利用促進
- ★地域農業への市民参加促進



福岡市議会議員（西区）

た なか 崇史

田中たかし

議会通信 vol.26 (2025年 春号)

田中たかし市政相談所

住所 〒819-0378 福岡市西区徳永北14-27 1F

Tel・Fax 092-407-6236

E-mail tanakatakashi.office@gmail.com

プロフィール

福大大濠高校卒業
拓殖大学卒業
法政大学大学院修了
国会議員政策秘書 等

福岡市議会議員（2期目）
福岡市民クラブ政調会長
総務財政委員会委員
議会運営委員会委員 他



ホームページ

Facebook

福岡市議会第一回定例会（2・3月議会）

田中たかしは、なぜそんなに忙しかったのか!?

2月17日から3月26日まで福岡市議会第一回定例会が開会され、令和6年度関係議案、並びに令和7年度の新年度予算案等が審議されました。田中たかしも会派の政調会長として、議会対応に全力で取り組んできました。

国会と違い、なかなかメディアに露出することが少ない地方議会。市議会議員は「一体、何がそんなに忙しいのかよく分からない」と言われることが多々あります。今回の議会通信ではそんな声にお答えするため、予算議会的一端をご紹介します。



2月17日 議会初日 令和6年度関係議案の上程

令和6年度関係議案が31本上程され、議案質疑が行われました。市民クラブは九大ファンドへの出資に関する条例案について質疑。田中たかしも議案の精査、ならびに質問内容の検討を行いました。（⇒裏面参照）

2月20日 令和6年度関係議案採決／反対討論*

市民クラブは精査の結果、九大ファンド出資議案に反対。田中たかしは反対理由を明らかにするため、反対討論で登壇しました。（※⇒【田中が登壇】裏面参照）

2月25日～27日 予算案熟読日

会派で令和7年度予算案についての勉強会。17の局・室から3日間にわたりヒアリングを行い、予算案の詳細を確認しました。

3月3日 代表質疑

令和7年度の市政方針について、会派ごとに質疑。市民クラブは落石議員が登壇し、執行部に対して施策の確認のための質疑を行いました。代表質疑の原稿は会派一丸で取り組み、作り上げます。

3月5日 補足質疑*

代表質疑に関して、特に課題として考えている施策について質疑。田中たかしは2度目の登壇。防災と博多港に関する施策について詳細な質疑を行いました。（※⇒【田中が登壇】裏面参照）

3月7日～3月14日 条例予算特別委員会分科会

令和7年度予算案に関して、各分科会（常任委員会）に分かれて詳細な審議が行われました。田中たかしは総務財政分科会で総務企画局、財政局、市民局等の施策について審議。

3月19日、21日、24日 総会質疑

会派から数名ずつ選出された議員が、令和7年度の予算に関する質疑を行いました。それぞれの課題意識のもと、テーマを絞って質問。一問一答の質疑が行われます。

3月24日 令和7年度予算案の組替動議を条例予算特別委員会運営理事会に提出

福岡市民クラブは、令和7年度予算案の再編成を求める組替動議を提出しました。組替動議とは議員が行政に対して予算案を撤回、修正し再提出を求めるものです。今回は予算委員会への提出は見送りましたが、田中たかしは組替動議の内容と理論構成など提出に向けての環境整備を行いました。

3月25日 条例予算特別委員会採決

3月26日 議会最終日 予算案他新年度議案・人事案採決
1ヶ月近くに亘って、代表質疑、補足質疑、分科会、総会質疑と審議してきた上で、予算案に対する賛否を決定します。市民クラブは予算案に対して反対しました。（⇒裏面参照）

●上記の他にも...

記載日以外には休んでいるわけではありません。議会開会中は、本会議や委員会以外にも様々な会議等が開かれる上に、質問原稿の作成のための執行部との勉強会やレクなどが行われます。また、会派内での意思統一を図るための会派会議も頻りに開催されます。田中たかしは議会運営委員や条例予算特別委員会運営理事、条例勉強会のメンバーでもあることから、そういった会議・協議に参加しました。

議会活動は議員の本分

皆さんから預かる税金の使途を決定する予算議会は大変重要なもの。与党と野党では予算案や執行部に対する態度は大きく違いますが、議員は私に限らず皆全力で予算審議にあたります。なかなか動きが可視化されない地方議員ですが、こういった議会活動に市民の皆さんの関心が高まってくれば幸いです。

